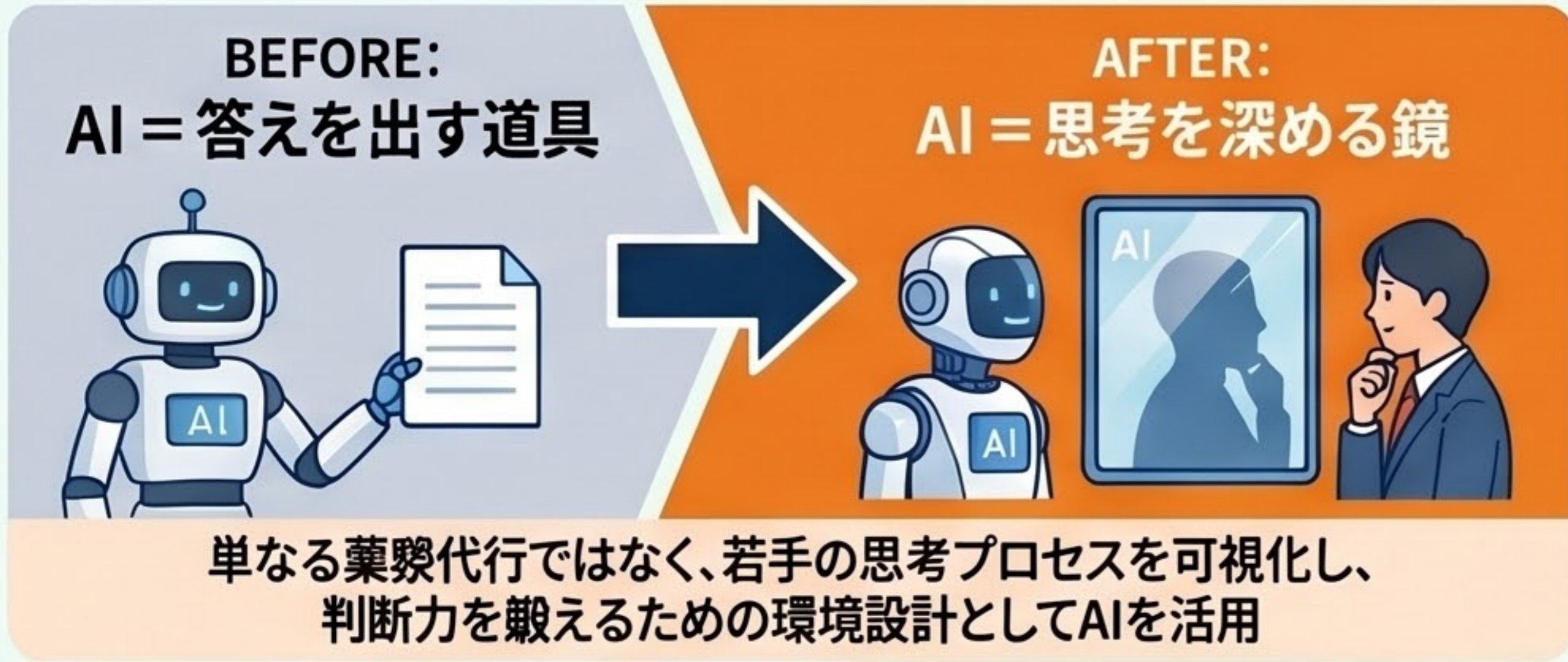


企業知財部の若手を伸ばす！生成AI活用型・教育プログラムの全貌



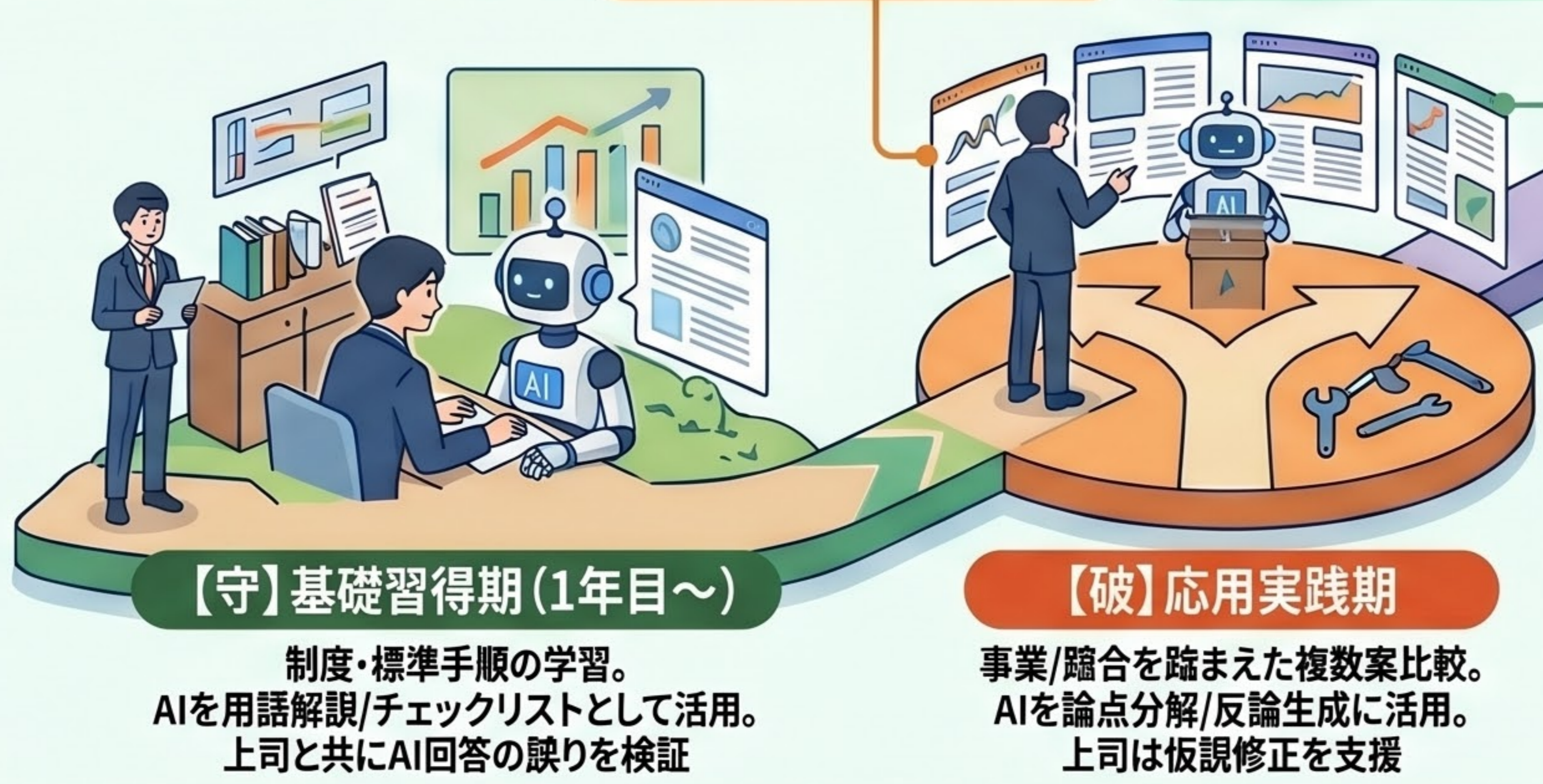
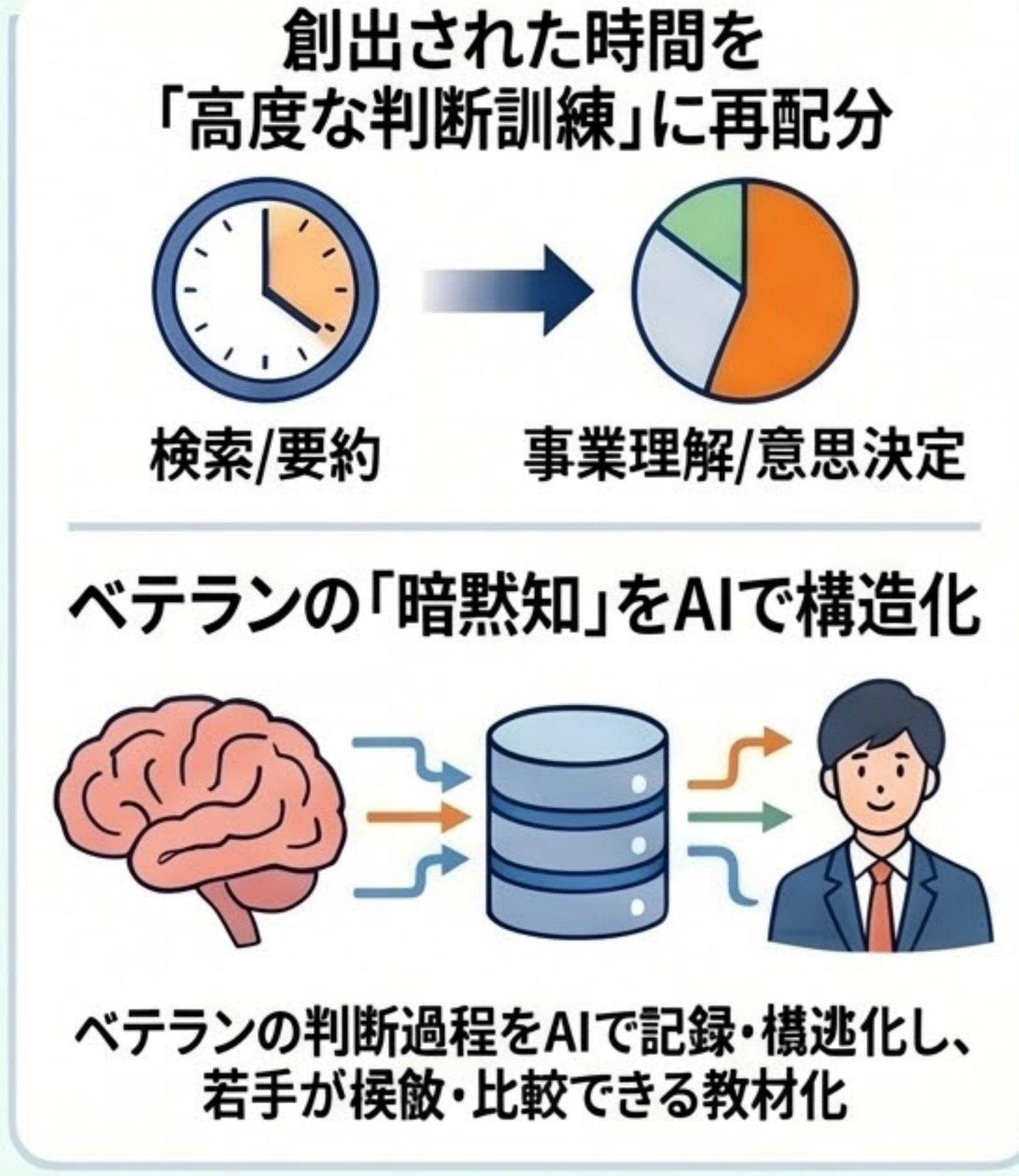
4つの具体的教育メソッド

AI撃打ちによる「問いを立てる力」育成

結論ではなく、「判断に必要な論点」をAIに問わせ、問いの質を改善

AIレビュー付きドラフト演習

採用した指摘
あえて不採用の理由
あえて不採用の理由
あえて不採用の理由、批判的検証力を養う



事業部対応を想定したAIロールプレイ

研究者 事業部長 経営層

説明・説得の練習を安全に繰り返す

学習コンテンツの個別最適化

若手個人の強点/業務に応じて、教材緊密的や理解度クイズを作成

12ヶ月の育成ロードマップ

1月	2-3	4-6	7-8	9-10	11-12
AI利用ルールと基礎 (権限管理、出力検証)	発明把握・先行調査 (質問票改善、仮説検討)	判断・明細書・拒絶対応 (比較表、草案レビュー)	FTO・契約・共同開発 (リスク観点洗い出し)	事業部説明・競合分析 (ロールプレイ、戦略仮説)	ケース発表・総括 (判断過程の構造化発表)
安全利用	本質的質問/仮説構築	判断論説明/鋭点発見	優善・契約リスク説明	知財価値の事業言語化	自己成長課題の特定

人間とAIの役割分担

AIの役割: 情報整理と仮説生成

- 情報の一次整理
- 論点の抜け漏れ確認
- 反論の生成
- ドラフトの校閲

人間の役割: 文脈理解と意思決定

- 事業文脈の理解
- 競国内の関係性構築
- 最終的な判断責任
- 倫理・信頼形成